

市内小中学生や 長崎市の教員・職員に向けた 講話実施

通年

平和学習の一環としての
講話実施のほか、
中学3年生が
卒業後にできる
「平和への取り組み」の
ひとつとして
紹介しました。



長崎市の職員や
平和教育担当教諭
を対象に
講話をおこないました。

交流会開催

(交流証言者と被爆者の交流)

※H28年度から交流証言者を募集開始



H28.7月



◆被爆体験を
「受け継ぎたいか」と
「託したいか」を
それぞれ募集開始。

◆お互いについて
知ってもらうため
交流会を開催しました。



県外での講話実施 (北九州市・秋田大学)

H28.7月

◆被爆体験講話を
あまり聞く機会がない
県外の学生へ向けて
被爆の実相を伝え
平和の発信を行いました。

◆被爆体験継承の課題
そして新しい活動を
県外の方にも知ってもらう
良い機会となりました。



8月9日に 長崎原爆資料館で講話実施

H28.8月

長崎原爆資料館の
展示室入口前で、
講話をおこないました。

資料館を訪れた人たちに
足をとめて聞いていただき、
県内外の多くのかたに
被爆体験の継承と
平和の発信を
おこなうことができました。



交流証言者による 被爆体験の聞き取り開始

講話原稿作成をめざし、
聞き取りを開始しました。

H28.8月～



被爆体験講話を聴いたり
当時住んでいた家や
避難した防空壕の場所に
実際に行ったりして
当時の様子を想像しながら
理解を深めています。



家族・交流証言フォーラムの実施

H29.3月



◆ H28年度から開始した「交流証言者」の周知も兼ねて交流証言者3名と家族証言者1名が講話発表をおこないました。

◆ それぞれの個性を生かした講話スタイルで聴講者に被爆者の体験と平和への思いを伝えました。

講話にいたるまで…

知り合いに
被爆者がいないかた

家族等の体験を
語り継ぎたいかた

交流会参加

聞き取り

講話原稿作成

パソコン操作研修

話し方研修

交流証言者として
講話開始

家族証言者または交流証
言者として講話開始

あなたも次世代の語り部として、
被爆体験を語ってみませんか。